

## 自衛隊神奈川地方協力本部

## 平成28年度自衛隊音楽まつり研修

## 神奈川地本カレッジ防衛モニター 井上 美桜

11月12日(土)、カレッジ防衛モニターとしての活動として、日本武道館で行われた自衛隊音楽まつりを鑑賞した。

同音楽まつりには、陸・海・空自衛隊の音楽隊はもちろんのこと、在日米陸軍軍楽隊や米海兵隊音楽隊、インド陸軍軍楽隊などが出演しており、想像していたよりも国際的な演奏会で、またどの演奏もそれぞれの音楽隊の所在する地域の特色がはっきりと判るようになっていて、とても楽しく鑑賞することができた。また、全体的に演奏は多くの人が知っているような曲が多く、楽曲の構成や演出も凝っており、鑑賞する人々を楽しませようという気持ちが伝わってくる公演であった。

特に私が凄いと思ったのは、防衛大 学校儀仗隊の演技である。隊員の糸乱れぬ動きによって生み出される足音や銃を扱う音によって構成される演技は、素晴らしい完成度であり、日々のたゆまぬ努力の賜物だと感じた。

同音楽まつりは、当初想像していたような堅苦しさは全くなく、純粋に音楽を楽しむこと、ひいては音楽で世界中の人々と分かり合える可能性を感じさせるような素晴らしい公演であった。機会があれば、是非また聴きにいきたいと思う。

## 平成28年度自衛隊音楽まつり研修

## 神奈川地本カレッジ防衛モニター 勝呂 拳人

11月12日(土)、カレッジ防衛モニターとして、日本武道館で行われた自衛隊音楽まつりを研修した。会場である日本武道館に到着すると、開場前にもかかわらず受付には長蛇の列ができており、また開演直前には、ほぼすべての観覧席が埋まるなど、本イベントの人気の高さが伺えた。

実際に公演が始まり、楽器を演奏しながら行進し、曲のリズムを崩すことなく次々と展開される演技に、思わず目が釘付けにされるとともに、それぞれの音楽隊が所在する地域をイメージさせた楽曲の構成に非常に興味が惹かれた。

防大儀仗隊による演技では、音楽に合わせた足音と小銃によって生み出される独特の音が会場を響かせ、全員が揃って完璧に決めた瞬間には会場内に歓声が上がるといった。また、全国の自衛隊から選抜されたチームによる和太鼓の演奏では、大小さまざまな太鼓が会場を埋め尽くし、力強い和太鼓の音が会場全体の空気を震わせるほど響き渡っていた。

今回の研修を通じて、音楽隊の演奏の素晴らしさや儀仗隊のカッコよさ、和太鼓の迫力などを体感することができ、とても有意義な1日であった。

## 全国防衛協会青年部会全国大会を支援

自衛隊神奈川地方協力本部(本部長 1等海佐 松田辰雄)は、11月19日(土)、神奈川県防衛協会青年部会(会長 溝渕信一氏)が主催した全国防衛協会連合会青年部会第16回青年研修大会「神奈川大会」の一環で行われた部隊研修を支援した。

同大会には、全国に所在する青年部会会員約170名が神奈川県に集結し、前日に海老名市内のホテルで実施された式典や講演会、演奏会などに続き、防大開校記念祭見学や海上自衛隊横須賀基地での艦艇見学などの部隊研修支援を行った。

当日はあいにくの雨模様で、当初予定していた体験搭乗は中止となったが、防大開校祭では、防大の陸上要員による「訓練展示」を見学し、日頃の訓練成果を遺憾なく発揮した、防大生の迫力ある模擬戦闘に感嘆の声が上がっていた。

その後、海自横須賀基地にて護衛艦「きりしま」「てるづき」に乗艦し、護衛艦の特性や兵装に関する乗組員の説明に、参加者は熱心に耳を傾けていた。研修後、参加者からは、「防大生の澆刺とした勇姿に感動した」「護衛艦の想像を超える迫力に圧倒された」などの声を聞くことができた。

神奈川地方協力本部は、「今後も、関係協力団体との連携強化に努めるとともに、自衛隊に対する理解の深化に寄与できるよう、積極的に支援していく」としている。